「学び」イベント情報 募集中!!

研究者の皆様が市民へ向けて行なっている公開講座やシンポジウム等の情報提供をお待ちしております!

掲載料は無料です。

5 MAY

特別展「石川啄木の世界」 学芸員による展示解説
5月31日(土) 13:30▶
講 師 仙台文学館学芸員 有料 申込不要
場 所 仙台文学館企画展示室
主催者 仙台文学館 問合先 TEL 022-271-3020
URL http://www.sendai-lit.jp/

6 JUN

放送大学の集い in 仙台
6月14日(土) 13:30▶15:30
講 師 渡辺 善雄（放送大学客員教員） 無料 要申込
場 所 放送大学 宮城学習センター
主催者 放送大学宮城学習センター 問合先 TEL 022-224-0651
URL http://www.campus.ouj.ac.jp/~miyagi/

第 62 回 小池光 短歌講座
6月14日(土) 13:30▶15:30
講 師 小池 光（仙台文学館館長） 有料 要申込
場 所 仙台文学館講習室 定 員 80 名
主催者 仙台文学館 問合先 TEL 022-271-3020
URL http://www.sendai-lit.jp/

「日本発掘―発掘された日本列島 2014―」記念講演会「日本発掘」展の見どころ
6月15日(日) 13:30▶15:00
講 師 国武 貞克（文化庁文化財部記念物課） 無料 申込不要
場 所 東北歴史博物館 3 階講堂
主催者 東北歴史博物館 問合先 TEL 022-368-0106
URL http://www.thm.pref.miyagi.jp/

東北大学サイエンスカフェ 第 105 回：歯からはじめる全身の健康
6月20日(金) 18:00▶19:45
講 師 小関 健由（東北大学大学院歯学研究科教授） 無料 申込不要
場 所 せんだいメディアテーク 1 階オープンスクエア
主催者 東北大学 問合先 TEL 022-217-6090
URL http://cafe.tohoku.ac.jp/

ジェンダー論講座 【公開】「震災・復興と女性」
6月21日(土) 13:30▶15:30
講 師 木須 八重子（せんだい男女共同参画財団理事長）他 有料 要申込
場 所 エル・ソーラ仙台 大研修室 定 員 70 名
主催者 （公財）せんだい男女共同参画財団 問合先 TEL 022-268-8044
URL http://www.sendai-l.jp/

講演会「啄木の短歌への誘い」
6月22日(日) 13:30▶
講 師 佐佐木 幸綱（歌人） 有料 要申込
場 所 仙台文学館講習室 定 員 200 名
主催者 仙台文学館 問合先 TEL 022-271-3020
URL http://www.sendai-lit.jp/

第 18 回日本がん分子標的治療学会市民公開講座
6月28日(土) 13:00▶15:00
講 師 稲澤 譲治（東京医科歯科大学）他 無料 要申込
場 所 仙台市情報産業プラザ
主催者 第 18 回日本がん分子標的治療学会 問合先 TEL 022-717-8599
URL http://www.jamttc18.jp/

第 10 回東北大学病院市民公開講座「もっと知ってほしい 皮膚ケアと排泄ケア」
6月28日(土) 13:00▶15:40
講 師 石井 苗子（女優・ヘルスケアカウンセラー）他 無料 要申込
場 所 仙台国際センター大ホール
主催者 東北大学病院 問合先 TEL 022-717-7131
URL http://www.hosp.tohoku.ac.jp/

講演会「芹沢銈介収集のアンデスの染織について」
6月28日(土) 13:30▶15:00
講 師 梶谷 宣子（メトロポリタン美術館終身名誉館員） 有料 要申込
場 所 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 定 員 70 名
主催者 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 問合先 TEL 022-717-3318
URL http://www.tfu.ac.jp/kogeikan/

※登場者（講師、演者、担当者）については敬称略

第25回 名著への旅

『日本語ぽこりぽこり』
アーサー・ビナード 著
小学館
（2005年2月28日 初版発行）

エッセイは日常の微細な出来事に焦点をあて、読者に楽しく「振り返り」をもたらしてくれるが、本書はそうした営みを日本のみならず諸外国（主には米国）との往復を通して与えてくれる。このことは、筆者が「外国人」であって、日本語を第一言語としていない「よそもの」性がそうしていると捉えがちだが、それ以上にかれの持つことばやものごとに対する敏感さと勤勉さの賜物ではないか。

日本とイタリアとアメリカの「柿」、古代ローマとスペースシャトルと鉄道の軌間、アメリカの“火鉢”、メキシコ風サンダルと“草鞋”の関連性など……幅広い話題を通して、わたしたちの日常が過去および世界と結びつきうることに氣づかせてくれる。

わたしが最も好きな文章は「包丁がメロンの上に落ちても、メロンが包丁の上に落ちても、切られるのはメロンだ」というインドの諺が登場する「メロンの立場」だが、その意味するところは実際に読んで確かめていただきたい。 （寺）

Webならでは Twitterアカウント

Follow me! まなびのめ

Twitterアカウントあります!

「まなびのめ」編集部（@manabinome）公式ツイッターでは、最新のイベント情報はもちろん発刊情報など、まなびのめに関する情報をリアルタイムでお届け！時には編集部員の“ツブヤキ”もあるかも？ぜひアクセス＆フォローをお願いします！

ぜひ Web版もご覧ください まなびのめ 検索 http://www.manabinome.com

Facebookページへはこちらから⇒ Twitterページへはこちらから⇒

学びの庭におじゃまします 次号テーマ：「歴史に学ぶ」

2014年7月5日発行予定

「気」になる「氣」…当社は言葉を組版する職業として、漢字の本来の成り立ちである「本字」を大切にしたいという思いがあり、社名に使われる本字の「氣」を使用することでその思いを表しています。

応募先 / 問い合わせ先

〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8番45号
笹氣出版印刷株式会社内「まなびのめ」編集部
FAX 022-288-5551
TEL 022-288-5555
（FAXは24時間受付 電話受付時間 10:00～16:00 土・日・祝日除く）
manabinome@sasappa.co.jp

学術の世界と市民をつなぐ情報誌「まなびのめ」第24号／発行日2014年4月5日
企画・編集 笹氣出版印刷株式会社「まなびのめ」編集部／発行 笹氣出版印刷株式会社

「まなびのめ」編集部 川又進 佐藤曜 齋藤麻実 三上志穂
オブザーバー：笹氣義幸 只野俊裕 寺田征也(明星大学)
協力 株式会社市瀬 有限会社阿部正志製本

この印刷物はグリーン基準に適合した印刷資材を使用して、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮商品です。用紙は責任をもって管理された森林から作られたFSC®認証紙を使用し、インキは環境にやさしい植物油インキを使用しています。

FREE ¥0 ご自由にお持ち帰りください。

図書カード懸賞付クイズあります

仙台市科学館 学術の世界と市民をつなぐ情報誌

まなびのめ

学びの庭におじゃまします 統計に学ぶ

正確な社会調査で不平等の問題に挑む

放送大学 特任教授・宮城学習センター所長、東北大学 名誉教授（社会学）
原 純輔 先生

医療の課題をデータで解決するために

宮城大学 看護学部 准教授（公衆衛生学、人類生態学）
萩原 潤 先生

〈行ってみよう！「学び」の場所へ〉

- これからの主な「学び」イベント39件掲載!
- 「学び」イベントに行ってきました
- 名著への旅 『日本語ぽこりぽこり』（アーサー・ビナード）
- Voice Park

季刊誌 第24号 2014.4

Web版は随時更新中! まなびのめ 検索 http://www.manabinome.com/

発行／笹氣出版印刷株式会社

これからの主な「学び」イベント

有料 無料 要申込 申込不要

▲このマークはイベント参加についての有料・無料または事前申込の有無について記しています。

ここに掲載する情報は、各研究・教育機関や施設が公開している情報を基に掲載していますので、当社の責任で開催を保証するものではありません。日時、内容に変更がある可能性がありますので、詳しくは各問合先へご確認ください。

有料・要申込の場合の料金や申込方法など詳細は **Web 版に掲載**しております。ぜひご覧ください。

定期開催

トワイライトサロン「MA☆（マスター）土佐誠の宇宙が身近になる話」
毎週土曜日 17:00▶17:45
講 師 土佐 誠（仙台市天文台長） 無料 申込不要
場 所 仙台市天文台 オープンスペース 他
主催者 仙台市天文台 問合先 TEL 022-391-1300
URL http://www.sendai-astro.jp/

開催中

テーマ展示「杉山コレクション ―埴輪―」
～5月18日(日) 9:30▶17:00
有料 申込不要
場 所 東北歴史博物館 テーマ展示室 1
主催者 東北歴史博物館 問合先 TEL 022-368-0106
URL http://thm.pref.miyagi.jp/

4 APR

開館 25 周年記念「芹沢銈介コレクション アンデスの染織」
4月 7日(月)～7月26日(土) 10:00▶16:30
有料 申込不要
場 所 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
主催者 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 問合先 TEL 022-717-3318
URL http://www.tfu.ac.jp/kogeikan/

「画題たんけん～絵を読み解く道しるべ」（福島美術館 春の展覧会）
4月 8日(火)～5月31日(土) 9:00▶16:30
有料 申込不要
場 所 福島美術館
主催者 社会福祉法人共生福祉会 福島美術館 問合先 TEL 022-266-1535
URL http://www.fukushima-museum.jp/

ミニ企画展「縄文人と動物のかかわり―大野田遺跡と土偶」
4月18日(金)～6月22日(日) 9:00▶16:45
有料 申込不要
場 所 仙台市縄文の森広場
主催者 仙台市縄文の森広場 問合先 TEL 022-307-5665
URL http://www.city.sendai.jp/kyouiku/jyoumon/

「画題たんけん～絵を読み解く道しるべ」ギャラリートーク
4月18日(金) 10:30▶11:30
講 師 福島美術館学芸員 有料 申込不要
場 所 福島美術館
主催者 社会福祉法人共生福祉会 福島美術館 問合先 TEL 022-266-1535
URL http://www.fukushima-museum.jp/

東北大学リベラルアーツサロン 第 28 回：ユートピア社会のメディア、言語空間：スターリン統治下のソ連における検閲制度
4月18日(金) 18:00▶19:45
講 師 寺山 恭輔（東北大学東北アジア研究センター教授） 無料 申込不要
場 所 せんだいメディアテーク 1 階オープンスクエア
主催者 東北大学 問合先 TEL 022-217-6090
URL http://cafe.tohoku.ac.jp/

市民公開講座「ワイヤレス充電がもたらす電気自動車の未来」
4月25日(金) 18:00▶19:30
講 師 田倉 哲也（東北工業大学工学部講師） 無料 申込不要
場 所 東北工業大学一番町ロビー 4 階ホール 定 員 60 名
主催者 東北工業大学 問合先 TEL 022-723-0538
URL http://www.tohtech.ac.jp/

東北大学サイエンスカフェ 第 103 回：固体のなかでイオンがうごく!? ～次世代電池のための新材料～
4月25日(金) 18:00▶19:45
講 師 高村 仁（東北大学大学院工学研究科教授） 無料 申込不要
場 所 せんだいメディアテーク 1 階オープンスクエア
主催者 東北大学 問合先 TEL 022-217-6090
URL http://cafe.tohoku.ac.jp/

※登場者（講師、演者、担当者）については敬称略

学びの庭におじゃまします

見渡してみると、世の中には「統計」があふれているようですが、
知っているようで意外に知らない統計の世界。
学術の世界でも「統計」が様々に活用されているようなので、先生方にお話を聞いてみよう、と思い立ちました。
まずは現在、放送大学宮城学習センター所長をされている原純輔先生のお話を。

正確な社会調査で不平等の問題に挑む

懸賞 まなびめクイズ

図書カードを当てよう！

正解者の中から抽選で3名様に図書カード1000円分をプレゼント

Q.1　放送大学宮城学習センターの合言葉はどんな「教養」？

※応募にはQ1とQ2両方の答えが必要です。萩原潤先生の記事もご覧ください。

応募方法　はがき、FAX、E-mailのいずれかで、①住所、②氏名、③年齢、④職業、⑤電話番号、⑥クイズの答え２つ、⑦「まなびのめ」の入手場所、⑧内容についての感想を明記して編集部までご応募ください。

※当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。
※応募いただいたお客様の個人情報は弊社主催のイベント案内、連絡及び発送に限り利用させていただきます。

【応募締切】2014年5月31日 当日消印有効

「言葉による回答」もコンピュータで分析

私の研究スタイルは「計量社会学」といわれます。調査と統計分析を主要な研究手段としてきました。統計の対象は個人ではなく集団ですし、基本的には数字の世界です。しかし、そこから社会の仕組みや人々の心を読み取って言語化していくわけです。

私のテーマは大きく言えば二つあって、一つめは「社会調査」の方法そのものの研究です。皆さんも、マスコミによる世論調査や、企業が行う市場調査はご存知でしょう。これらは、知りたい集団全体から一部の人を選んで調べる「標本調査」です。一方で国が行う国勢調査は、国内に居住している人全員を対象としますから「全数調査」と言います。

全数調査には巨額の費用がかかりますし、調査する数が増えるほど、調査や集計の過程でミスが起きやすくなります。これに対して標本調査は、適切な人数を適切な方法で選び、調査や集計の方法を工夫すれば、かなり正確に全体の様子を知ることができるのです。「どの程度確かと言えるのか」は数学的に明らかにされていて、皆さんも学校で確率や統計の基礎を学ばれたかもしれません。

その集団の特徴を、たとえば平均値や比率などの数値で表すことができれば、集団間の違いや、年ごとの変化を把握するのに便利です。これが統計学の基本で、「記述統計学」と呼ばれています。これに対して、先ほど述べたように一部の標本から全体の数値を把握しようとするのが「推測統計学」です。

社会調査では、対象の方に話をしていただいて聴き取りをすることもあれば、調査票を用意して、調査員が回答を記録したり、ご本人に記入していただいたりもします。電話やインターネットなど、他にもいろいろな方法があります。また、何をどのような順番で尋ねるか、質問文や選択肢をどうするかなどによっても、結果は大きく変わってしまいます。正確に調べるための方法そのものが、重要な研究課題なのです。

原先生の主な著書

たとえば調べたい内容の中には、選択肢を設定したり数値化したりすることが困難で、その人自身の言葉で語っていただかなければならないものもあります。こうした文章や会話を、データとして処理したり統計分析したりすることが、私の中心的なテーマの一つでした。コンピュータの処理能力が向上した近年は、キーワードを拾うだけでなく、その意味や文脈を読み取ることで、言葉をかなり正確に扱えるようになっています。

しかし、文章や会話が全体としてもつ特徴、たとえば意味、含まれている矛盾、微妙なニュアンスなどをとらえるというところまでは到達しておらず、まだまだ試行錯誤が必要でしょう。

「パートタイム正規雇用社会」を目指せ

マスコミなどで「格差社会」や「不平等社会」が大きな問題として取り上げられることが、ますます増えています。私の二つめの研究テーマは「社会階層と不平等」です。

経済的な格差が同世代の中で、あるいは世代の違いによってあまりに大きすぎる、あるいは親の職業や経済力によって子どもの将来（機会）がほぼ決まってしまう社会は問題です。しかし社会的な不平等は、最近になって急に生じたわけではありません。状況を改善するためには、かつてと比べて今がどのくらい不平等だと言えるのかを数値化したり、そのデータに基づいて将来を予測したりすることが不可欠です。

近代になってからでも、明治から第二次世界大戦の終結までと戦後では、社会のあり方が大きく変わっています。その中で経済学は、職業の違いによる、収入や保有財産の差に着目しました。社会全体で見て、所得や資産がどのくらい平等に分配されているかを、統計に基づいて数値化したのです。

経済学が明らかにしようとした「保有の不平等」に対して、社会学は「機会の不平等」に着目しました。日本の社会は昭和30年代から40年代にかけての高度経済成長を経て豊かになりましたが、出自や学歴と職業の関係はどう変わったのかということが、重要な研究テーマになりました。

1955年から10年ごとに行われている「SSM調査」は、この問題を考える上で非常に有益な社会調査です。社会階層、社会移動、職業、教育などに関する、継続的で信頼度の高い調査として、世界的にも高く評価されています。私自身も、この調査の実施と分析に関わってきました。

かつては豊かさを分配し、社会全体に行き渡らせることが課題でした。しかし少子高齢化が急速に進む21世紀の現在は、避けられない負担の分配が最大の課題になっています。日本の人口を増やし、経済成長できるような政策を実行するべきだと言う人もいます。しかし将来の見通しが立ちにくい今の日本で、いくら結婚や出産を奨励しても、人口の増加は難しいでしょう。私は少子化という現実を受け入れた上で、社会全体で所得や仕事を分け合う方向が正しいと考えています。

この点で、今一番の問題は、条件の劣悪な非正規雇用の増大です。景氣が多少よくなったとしても、非正規雇用のうまみを知ってしまった企業が、フルタイム正規雇用労働者の大幅増に転じるとは思えません。しかし、社会保険などの仕組みが整っている正規雇用は、人々が安心して働き、家族をつくろうと思えるようになるための基盤です。むしろ、既にオランダなどに例があるように、パートタイムであっても正当な条件で雇用するという「パートタイム正規雇用社会」を目指すべきではないでしょうか。これは、フルタイム労働者の多様な生き方にもつながるはずです。

様々な年代が学ぶ放送大学

私は1945年の生まれで、SSM調査は私が10歳の時に始まりました。それからの10年ごとの結果の中に、私は自分のライフヒストリーを読み込まずにはいられません。これは実に感慨深いことであり、大きな喜びでもあります。

私は新潟県長岡市の出身で、高校の先生に勧められて東京の大学に進んだのが、1964年のことです。東北のような集団就職はありませんでしたが、上京する急行列車には、県境を出るまで、駅に停まるたびに東京で働こうとする中学卒業生たちが次々と乗り込んできて、ホームでは家族や知人が見送っていました。そんな時代だったのです。

大学でも先生との出会いがあって、卒業後は研究職を目指します。研究には統計処理や分析が欠かせませんが、私が大学院に入った当時はコンピュータも電卓もなく、手作業による集計と計算に追われました。

手回し式計算機から電動回転式へ、そしてフィラメントで数字を表示するお化けのような電卓へ。新たな機械が導入されるたびに操作の習得に努め、大学の大型計算機が利用できるようになると、調査データや計算プログラムをパンチカードに打ち込んで持ち込みました。1週間待たされたあげくに「エラー」という結果が出てはやり直すことの繰り返しで、期待した結果が出せるようになるまで、1年くらいかかったでしょうか。日本の社会科学におけるコンピュータの導入期に、私たちは先導的な役割を果たすことができたのではないかと思っています。

私は今、放送大学で宮城学習センターの所長を務めています。放送大学は、テレビやラジオの放送とテキストなどを用いて学ぶ、通信制の大学です。大学卒業資格を得るだけでなく大学院で学ぶこともできます。宮城学習センターには、現在約2,000名が在学しています。学部生は30代から40代、大学院生は40代から50代がもっとも多くなっていますが、その他の年代の方も決して少なくありません。いろいろな経歴をお持ちの方々が真剣に学んでおられる姿に接することで、私も大いに視野を広げることができました。本当に感謝しています。

センターの建物は、東北大学の片平キャンパスにある、築90年を経た貴重な歴史的建造物を利用しています。講義のビデオを視聴したり、実際の講義を受けたり実習をしたり、教員に学習相談に応じてもらったりすることができます。

一般市民の方々、在学生、教職員がお互いに交流する「放送大学の集い」も開いています。昨年度は6回、うち4回は気仙沼市や石巻市などに出張し、ミニ講義や放送大学の説明会も行い好評でした。「歯ごたえのある教養」が、宮城学習センターの合言葉です。科目単位での受講も可能ですから、興味を持たれましたら、どうぞ放送大学での学びをご検討ください。

（取材＝2014年2月21日／放送大学宮城学習センター3階・所長室にて）

放送大学　特任教授・宮城学習センター所長、東北大学　名誉教授
専攻＝社会学

原　純輔 先生

《プロフィール》（はら・じゅんすけ）1945年新潟県生まれ。東京大学文学部卒業。東京大学大学院社会学研究科博士課程中退。横浜国立大学、東京都立大学で講師、助教授、教授を務め、1994年より東北大学文学部教授。東北大学大学院文学研究科長・文学部長を経て、2009年より現職。著書に『社会調査』『社会階層と不平等』（ともに放送大学テキスト）、『社会階層 ― 豊かさの中の不平等』（英語版、韓国語版も）など。

学びの庭におじゃまします

医療の世界でも「統計」が数多く活用されている印象がありますね。
看護師養成にも欠かせないという「統計」のお話を、宮城大学・萩原潤先生に伺いました。
統計学の歴史や、そもそもの先生の専門の話も、興味をひかれるところです。

懸賞
図書カードを当てよう！ まなびめクイズ
正解者の中から抽選で3名様に図書カード1000円分をプレゼント
Q.2 1800年代半ばロンドンで流行、後にわかった伝染病の原因は？
※応募にはQ1とQ2両方の答えが必要です。原純輔先生の記事もご覧ください。
応募方法 はがき、FAX、E-mailのいずれかで、①住所、②氏名、③年齢、④職業、⑤電話番号、⑥クイズの答え２つ、⑦「まなびのめ」の入手場所、⑧内容についての感想を明記して編集部までご応募ください。
※当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。
※応募いただいたお客様の個人情報は弊社主催のイベント案内、連絡及び発送に限り利用させていただきます。
【応募締切】2014年5月31日 当日消印有効

医療の課題をデータで解決するために

看護師に統計学が必要な理由とは

看護学科で統計学を担当しています。「看護師になるのになぜ統計学が必要？」と思う学生もいるようですが、個人ではなく集団を対象とする疫学では、統計の知識が欠かせません。

疫学は、最初は疫病、つまり伝染病を研究する学問として始まりました。1800 年代の半ば、ロンドンである伝染病が流行します。患者のデータを地図に記した医師ジョン・スノウは、近所に住んでいても必ず伝染するとは限らないことに氣づき、患者の多くが同じ取水設備を使っていたことをつきとめました。空氣ではなく水で感染すると考え、その水の使用を禁じたところ、患者が劇的に減少したのです。

この伝染病の原因がコレラ菌だったことが判明したのは、それから 30 年も後のことでした。こうして、個人を調べただけでは解決できない問題が、集団を調べることで解決できることや、原因が判明していなくても、有効な対策や予防策がとれることが分ったのです。

疫学研究の方法は伝染病以外にも用いられるようになり、現在では地域や集団を対象とする、健康に関わるあらゆる課題に取り組む学問として確立されています。看護師はたしかに患者さん個人をケアする仕事ですが、疫学、そして統計学の知識も必要だというわけです。

宮城大学　看護学部　准教授
専攻＝公衆衛生学、人類生態学

萩原　潤 先生

《プロフィール》
（はぎはら・じゅん）1971 年山梨県生まれ。高崎経済大学経済学部卒業。東京大学大学院 医学系研究科 博士課程修了。博士（保健学）。同研究科客員研究員、宮城大学看護学部講師を経て、2008 年より現職。

統計・確率は中学や高校の数学で習います。しかし方程式などの他の分野と違って、絶対に間違いのない、唯一の答えを出そうとするものではありません。現実的な課題の解決、中でも「将来を予測したい」という要望に応えようと発展してきた学問です。

人類の歴史をさかのぼれば、「統計・確率は賭けやギャンブルから発生した」と言うこともできるでしょう。産業革命の時代には、農学が統計学の発展を促しました。肥料をどれだけ入れれば作物の収量がどれだけ増えるのかを正確に調べ、集計したり比べたりすることで、データに基づいて効率的に生産を拡大しようとしたのです。

また当時の経済学では、生命保険の問題が、統計が活用された代表例です。破綻することなく死亡保険金を支払うためには掛け金をいくらにすれば良いのかという問いに答えるために、多くの人を観察して人間の死亡に一定の規律性があることをつきとめたのでした。そして今では、天氣予報の降水確率など、統計は私たちにとって身近で役立つ学問になっています。

かつては経験や直感に頼っていた判断を、過去のデータを調べ、数値に基づいて行おう、客観的な指標を見つけ出し、それを基に将来を予測しよう、これが統計学の考え方です。

患者さん自身が治療法を選ぶ時代に

タバコと肺がんとの関係は、近年、医療分野に統計が活用された典型的な例と言えるでしょう。この研究は内科医たちの、「タバコを吸う人は肺がんになりやすいのではないか」という直感から始まりました。まず内科医の中で、タバコを吸う人と吸わない人の間で、肺がんになった人の割合を調べたのです。そこに明からな差があることが分ると、しだいに調査の対象を広げ、ついに「タバコを吸う人は肺がんになりやすい」「タバコを吸う家族と同居していて、その煙を吸わされる人も肺がんになりやすい」という結論に至ります。

今では、タバコと肺がんの関係を疑う人はいないでしょう。しかし私たち人間は複雑な存在で、ある病氣の原因を一つに絞ることは極めて困難です。タバコをたくさん吸っているのに肺がんにならない人もいれば、タバコを吸わないのに肺がんになる人もいます。タバコを吸う権利や自由も、否定はできません。けれど 100％でなくても、統計からある程度確かであることが分れば、私たちはそこに因果関係を認め、決断・行動することができます。2003 年には、受動喫煙の防止が盛り込まれた「健康増進法」が施行されることになりました。

このように、確率・統計はある現象とある現象の間に因果関係を見出そうとする学問です。従って私たちがこの社会や世界を「どうとらえるか」という問題と深く関わっています。統計は数値を扱いますが、最後は人間の価値判断によるのです。

現在は治療行為に、科学的な根拠が強く求められるようになりました。これを「エビデンス」と言います。「その薬はどういう仕組みで効くのか」「その治療法はどの程度の効果が期待できるのか」といったことを、データに基づいて明らかにし、判断の材料にしようとしています。

もちろん、今までのような医師の経験に基づく診断・治療や、これまで行われてきた治療の有効性が否定されているわけではありません。しかし患者側もそうした根拠を知りたいと思うようになり、医療側はその要望に応えようと努めています。

検査技術が発達した今は、病院でさまざまな検査が行われるようになりました。そしてその結果から、たとえば「がんの 5 年生存率」、つまりある治療法によって 5 年後にその患者さんが治っている可能性を、統計に基づく数値で表すことができるようになっています。

この数値は、その患者さんやご家族の人生や生活に、直接的に関わります。手術その他の治療法のうち何を選ぶのかを、かつてのように医師が主導的に決めることは、今ではありません。医師が示すデータや意見を参考に、患者さん自身が治療法を選ぶ時代になったのです。

パプアニューギニアの生活に学ぶ

コンピュータが発達し、情報網が整備された現代では、膨大な情報を収集し、集計・分析することが容易になっています。そのため統計学の理論と活用は、ここ 10 年ほどで飛躍的に発展しました。たとえば私たちが持ち歩いている携帯端末やポイントカードなどの利用データの一部は、個人が特定されないように処理された上で、さまざまな商業活動に使われています。

こうした情報の蓄積と活用によって、私たちの生活はさらに便利になるでしょう。しかし一方では、個人情報の保護にも配慮が必要です。ヨーロッパを中心に、蓄積された自分の情報を確認する、場合によっては望まないデータの削除を求める「忘れられる権利」を主張する動きも出ています。

私自身は、統計学の専門家でも医学の専門家でもありません。環境問題に関心を抱き、大学では環境経済学を学びましたが、

萩原研究室に掲示されているポスター

より広く人間と環境の関係を考えようと、大学院では人類生態学を選びました。

人間は地球のいろいろな場所に住んでいます。標高や氣候などの自然環境によって人の体にも違いがあらわれますし、逆に人間の活動によって自然環境も変化します。こうした、人間と環境の間の相互作用を明らかにしようとするのが人類生態学です。まだ新しい学問なので方法論が確立しているとは言えませんが、人類学や生態学、そして統計学などの様々な研究方法にも学びながら、研究を進めています。

私は何度かパプアニューギニアに行き、電氣や水道がまだ普及していない集落に入ってきました。そこには狩猟や採集で食べ物をまかない、マキで火をたく生活が今も残っています。人口を数え、身長や体重、食べているものなどを調べ、時の経過による変化を追いました。

自給自足的だった集落にも、徐々に近代化の波が押し寄せています。経済活動が盛んになることで、生活水準は向上しました。一方で自然環境は大きく変化しつつありますし、それまでは飲まなかったアルコールが入ってきてからは、新たな問題も発生しています。パプアニューギニアの人々の暮らしを調べることで、今は失われてしまった私たちの祖先の暮らしに迫ることができるだけでなく、私たちの文明の今後について考える材料を得ることもできるでしょう。

最終的にどう考え、判断するかは人間次第です。しかし何事も、まずは客観的な数値やデータとしてまとめ、分析することで、より良い将来へと結びつけられるのではないでしょうか。実学として発展してきた統計を、市民の皆さんにも大いに活用していただければと思います。

（取材＝2014年2月13日／宮城大学大和キャンパス本部棟３階・萩原研究室にて）

Web版はより多くの情報を
随時更新しています。

まなびのめ 検索

http://www.manabinome.com

4 APR

[東日本大震災復興支援特別展] サントリー美術館おもしろびじゅつワンダーランド in 東北
4月26日(土)〜6月1日(日) 9:00▶16:45 有料 申込不要
場所 仙台市博物館
主催者 仙台市博物館 問合先 TEL 022-225-3074
URL http://www.omowan-sendai.jp/

仙台文学館・開館15周年記念特別展「石川啄木の世界〜うたの原郷をたずねて」
4月26日(土)〜6月29日(日) 9:00▶17:00 有料 申込不要
場所 仙台文学館
主催者 仙台文学館 問合先 TEL 022-271-3020
URL http://www.sendai-lit.jp/

まちなか美術講座「竹久夢二の大正時代」
4月26日(土) 13:00▶14:30 無料 申込不要
講師 宮坂 敦子（宮城県美術館学芸員）
場所 東北工業大学一番町ロビー 4階ホール 定員 60名
主催者 宮城県美術館×東北工業大学一番町ロビー 問合先 TEL 022-221-2111
URL http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/

2014年度ジェンダー論講座（全11回）
4月26日(土)〜12月13日(土) 13:30▶15:30 有料 要申込
講師 遠藤 恵子（東北学院大学名誉教授）他
場所 エル・ソーラ仙台 大研修室 定員 30名
主催者 （公財）せんだい男女共同参画財団 問合先 TEL 022-268-8044
URL http://www.sendai-l.jp/

アースデイ講演会 地球温暖化の現状 IPCC第5次評価報告書より
4月26日(土) 14:00▶15:30 無料 申込不要
講師 花輪 公雄（東北大学大学院理学研究科教授）
場所 仙台市天文台 加藤・小坂ホール 備考 対象／高校生以上
主催者 仙台市天文台 問合先 TEL 022-391-1300
URL http://www.sendai-astro.jp/news/2014/03/post-157.html

「明治天皇と東北巡幸」（仙台藩志会公開歴史講座 伊達学塾）
4月26日(土) 14:00▶16:00 有料 申込不要
講師 伊達 宗弘（仙台大学客員教授・宮城県図書館顧問）
場所 仙台市戦災復興記念館 5階 会議室 定員 130名
主催者 仙台藩志会 問合先 TEL 022-392-7729
備考 受講料700円（資料代）

特別展「石川啄木の世界」学芸員による展示解説
4月29日(火) 13:30▶ 有料 申込不要
講師 仙台文学館学芸員
場所 仙台文学館企画展示室
主催者 仙台文学館 問合先 TEL 022-271-3020
URL http://www.sendai-lit.jp/

テーマ別介護講座『高齢期のうつ』
4月30日(水) 10:00▶12:00 無料 要申込
講師 浅野 弘毅（東北福祉大学せんだんホスピタル病院長）
場所 仙台市シルバーセンター 6階第2研修室 定員 60名
主催者 （公財）仙台市健康福祉事業団 問合先 TEL 022-215-3711
URL http://www.sendai-hw.or.jp/

5 MAY

市民公開講座「私たちの暮らしと経営学〜経営戦略論入門〜」
5月9日(金) 18:00▶19:30 無料 申込不要
講師 阿部 敏哉（東北工業大学ライフデザイン学部教授）
場所 東北工業大学一番町ロビー 4階ホール 定員 60名
主催者 東北工業大学 問合先 TEL 022-723-0538
URL http://www.tohtech.ac.jp/

放送大学の集い in 気仙沼
5月10日(土) 13:30▶15:30 無料 要申込
講師 永田 英明（放送大学客員教員）
場所 気仙沼市地域交流センター ワンテンビル内（予定）
主催者 放送大学宮城学習センター 問合先 TEL 022-224-0651
URL http://www.campus.ouj.ac.jp/~miyagi/

※登場者（講師、演者、担当者）については敬称略

参加体験記 「学び」イベントに行ってきました

■ヴェールの向こう側から ― 北朝鮮民衆の文化人類学的分析

2014年2月15日（土）
東北大学 片平さくらホール

北朝鮮についての文化人類学的研究成果の報告ということで、興味深く参加しました。文化人類学的手法を用いるといっても、さすがにフィールドワークをするのは難しく、主に脱北者（一般的には「だっぽくしゃ」と発音していますが、先生方は「だつほくしゃ」と読んでいました）に対する聞き取りを通して、民衆の生活をうかがい知る、という方法を取られているそうです。出された話題も民衆の食料確保の方法、人口の推移、脱北者家族のネットワークについて、と興味深いものばかりでした。

そんな中で最も印象的だったのが、発表者の先生方が口々に「こういう成果を発表する機会がなかなか無く、今回のシンポジウムを非常に嬉しく思う」とおっしゃっていたことでした。そのことと関連して、全体を通して強調されていたのが「脱北者の脱政治化」です。「北朝鮮」「脱北者」と聞くとどうしてもその政治体制が頭に浮かんでしまいますが、そこは切り離した、北朝鮮民衆の日常生活を捉えるという視点が必要であり、またそうした研究から得られた情報は国の体制を知る上でも有意義である、ということでした。

大雪の降る中でしたが、参加した価値は大いにありました。

（仙台市青葉区・男性 ラニヤップ）

■まちなか美術講座「パリのミュシャ モラヴィアのムハ」

2014年2月1日（土） 13：00〜14：30
東北工業大学一番町ロビー 4階ホール

宮城県美術館で開催されている「ミュシャ財団秘蔵ミュシャ展 パリの夢モラヴィアの祈り」の鑑賞とセットで、こちらの美術講座に参加してきました。人氣の画家ですので、早目に席を確保したのですが、開始10分前には満席……。係の方が椅子を追加して、全員が受講できるようにしてくれました。副題にあるようにパリで流行した華やかな作品と、故郷のチェコ・モラヴィアで祖国愛に満ちた作品の対比から、ミュシャという画家を知っていくような内容になっていました。アルフォンス・ミュシャといえば、女性と花をモチーフに描いた華やかなリトグラフ作品を思い浮かべる人が多いでしょうが、晩年に祖国・民族の団結を切望し描いた油彩画は引き込まれるような魅力があり、ミュシャの大衆的なイメージとは違った一面を知ることができました。旬なタイミングで開かれた素敵な講座に大満足です。またこのような講座に積極的に参加してみたいと思います。

（仙台市・女性 もつ煮）

参加体験記 「学び」イベントに参加したら感想を書こう!

「学び」イベントに足を運ばれた読者の皆様から寄せられたご意見ご感想、講義内容のレポートを、〈「学び」イベントに行ってきました〉のコーナーでご紹介しています。ぜひご投稿ください!

【投稿者プレゼント】
ご投稿いただいた全員にもれなく粗品をプレゼント!
掲載採用させていただいた方のうち毎号1名様に1000円分の図書カードを進呈!
※採用の可否、図書カード当選者は編集部に一任いただきます。

■投稿内容
・イベントタイトル
・開催日時
・会場
・登場者（講師・演者等）
・参加体験記（420字以内）
・氏名（ペンネーム）
・連絡先

■投稿方法
はがき、FAX、E-mail、Web版投稿フォームのいずれかよりご投稿ください。

■投稿先
「まなびのめ」編集部
※詳細は最終ページをご覧ください。

「まなびのめ」配色法：襲色目（かさねのいろめ）
第24号・春／「桃」（momo）

読者の声 Voice Park 読者と編集部のキャッチボール

第23号 シリーズ「東日本大震災」【3】 ― 復興・再生 ―

東京では、こういった、市民も受講できる講座の情報を一堂に集めたパンフレットが無料で置いてある、ということがなかなか無いので感銘を受けました。と同時に仙台の人々が羨ましいと感じました。増田先生のお話も面白かったですが、山崎先生の復興ボランティア学のお話も面白かったです。普段、大学の先生のお話を伺う機会はあまりないので、「まなびのめ」さんに感謝！ です。 （東京都・37歳 女性）

編：県外の方からの反響で、大変なお褒めの言葉をいただけて、とても励みになっています。

「学都・仙台」と言われますが、単に大学が多い、ということだけでなく、市民の知的好奇心・探究心、そこからつながる文化度が高い街に名実ともになればいいなあ、「仙台ってなんでこんなに文化度が高いの？」「それは『まなびのめ』があるからでしょ」って言われるくらいの存在になりたいなあ、という想いで続けていきます。

まもなく震災から3年。山崎先生のお話、とても良かったです。震災後の取り組みに感動。そして、多くの事を学びました。「震災を風化させないためには、多くの人とつながることが必要。」…心がけたいと思います。 （石巻市・35歳 男性）

編：私も山崎先生の取材に立ち会って話を聴いていた際、山崎ゼミの学生さんの生きた実践、成長の姿に、とても感動をおぼえました。「大人」も負けてられませんね。

〈「学び」イベントに行ってきました〉に行けなかったイベントが載っていたのでうれしかったです。Voice Parkはよい企画だと思います。 （仙台市泉区・47歳 女性）

編：ありがとうございます。市民がお互いに刺激・発信し合ってこそ、本当に豊かな実りある社会が生まれます。声のキャッチボール“Voice Park”― これからもお互いに楽しんで参りましょう!!

手軽な大きさでカバンに入れて電車、地下鉄で読んでいます。なかなか勉強になり若返ります……。 （多賀城市・73歳 女性）

編：個人的には、そのようにして読んでいただくのが一番嬉しいのです。「手軽に・いつでも・どこででも」最新・最前線の研究をお届けするのが「まなびのめ」の使命のひとつです。体の若々しさもさることながら、心の若さも保っていきたいですね。

「学び」イベント情報欄が見づらいので、□（はこ）で囲ってやや間隔をあけるとよいと思います。 （宮城郡松島町・60歳 男性）

編：ご意見ありがとうございます。編集部で審議の上より良い紙面作りに励んで参りますので、これからもご愛顧のほどよろしくお願い致します。

いままで体験したことのない想像を絶する大きな震災、その復旧に向けてのいろいろな取り組みがされていることを知り、ご苦労さま、ありがとうと感謝するばかり。少しでも早く実現することを希望するばかりです。 （仙台市宮城野区・87歳 男性）

編：様々な取り組みがなされていてもなかなか進んでいない部分もあるということで、復旧・復興の難しさを感じます。それぞれの目指す「復興の形」に差があるためでしょうが、うまく進んでほしいですね。

その他のお便りと編集部からのコメントはWeb版でご覧いただけます。

第23号 まなびのめクイズの正解発表!!

「まなびのめ」第23号懸賞クイズの正解は下記のとおりです。

Q.1 仙台市認定の、防災知識・技術を学び地域防災を支える存在とは？
答え 地域防災リーダー

Q.2 石巻専修大学で一般開放もされている復興に関する講座名は？
答え 復興ボランティア学

図書カード1,000円分 図書カード1,000円分 図書カード1,000円分

今号も「まなびのめ」クイズを実施しております。正解者の中から抽選で3名様に図書カードが当たりますので、奮ってご応募ください!! ※詳細は研究者インタビューページをご覧ください。

これからの主な「学び」イベント

有料 無料 要申込 申込不要
▲このマークはイベント参加についての有料・無料または事前申込の有無について記しています。

5 MAY

ミュージアム講話「歌がはじめか絵が先か〜和歌で読み解くやまと絵の世界」
5月10日(土) 14:00▶16:00 有料 要申込
講師 井上 研一郎（宮城学院女子大学教授）
場所 福島美術館 定員 25名
主催者 社会福祉法人共生福祉会 福島美術館 問合先 TEL 022-266-1535
URL http://www.fukushima-museum.jp/

テーマ別介護講座『認知症の人とのコミュニケーション』
5月15日(木) 13:30▶15:30 無料 要申込
講師 小坂井 秀行（言語聴覚士・介護支援専門員）
場所 仙台市シルバーセンター 6階第2研修室 定員 60名
主催者 （公財）仙台市健康福祉事業団 問合先 TEL 022-215-3711
URL http://www.sendai-hw.or.jp/

歴史的建造物調査・保存・活用研究会設立記念シンポジウム
5月16日(金) 13:30▶15:00 無料 申込不要
講師 玉井 哲雄（国立歴史博物館名誉教授）他
場所 東北工業大学一番町ロビー 4階ホール 定員 60名
主催者 東北工業大学 問合先 TEL 022-723-0538
URL http://www.tohtech.ac.jp/

なるほどびじゅつ講座―吉祥文様のルーツを探る―
5月17日(土) 13:30▶14:30 無料 要申込
講師 柴橋 大典（サントリー美術館学芸員）
場所 仙台市博物館ホール 定員 200名
主催者 仙台市博物館 問合先 TEL 022-225-3074
URL http://www.omowan-sendai.jp/

国宝・大崎八幡宮『仙台・江戸学』第8期「学者が若年寄になると―堀田正敦の場合―」
5月21日(水) 13:30▶15:00 有料 要申込
講師 鈴木 道男（東北大学大学院国際文化研究科教授）
場所 大崎八幡宮 祭儀棟 定員 100名
主催者 「国宝大崎八幡宮 仙台・江戸学」実行委員会 問合先 TEL 022-234-3606
URL http://www.oosaki-hachiman.or.jp/edogaku/

介護ナイター講座『介護のための医学の基礎知識』
5月22日(水) 18:30▶20:30 無料 要申込
講師 佐藤 牧人（東北福祉大学せんだんホスピタル副院長）
場所 仙台市シルバーセンター 6階第2研修室 定員 40名
主催者 （公財）仙台市健康福祉事業団 問合先 TEL 022-215-3711
備考 介護テキスト代500円（希望者のみ）

市民公開講座「iPhoneアプリ『マプコミ』デザイン開発秘話〜ユーザーエクスペリエンスデザインの実践〜」
5月23日(金) 18:00▶19:30 無料 申込不要
講師 堀江 政広（東北工業大学ライフデザイン学部准教授）
場所 東北工業大学一番町ロビー 4階ホール 定員 60名
主催者 東北工業大学 問合先 TEL 022-723-0538
URL http://www.tohtech.ac.jp/

小池光ことばのセッション VOL.8「啄木短歌の魅力を語る」
5月24日(土) 13:30▶15:00 有料 要申込
ゲスト 穂村 弘（歌人）
場所 仙台文学館講習室 定員 200名
主催者 仙台文学館 問合先 TEL 022-271-3020
URL http://www.sendai-lit.jp/

東北大学サイエンスカフェ 第104回：黒鉱鉱床と、現在の海底でできつつある黒鉱もどきの話
5月30日(金) 18:00▶19:45 無料 申込不要
講師 山田 亮一（東北大学大学院理学研究科（兼）環境科学研究科研究員）
場所 せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア
主催者 東北大学 問合先 TEL 022-217-6090
URL http://cafe.tohoku.ac.jp/

発掘された日本列島展20周年記念「日本発掘―発掘された日本列島2014―」
5月31日(土)〜7月9日(水) 9:30▶17:00 有料 申込不要
場所 東北歴史博物館
主催者 文化庁・東北歴史博物館・他 問合先 TEL 022-368-0106
URL http://www.thm.pref.miyagi.jp/

※登場者（講師、演者、担当者）については敬称略